

「豊かな源!ひと!」シリーズ

17人目

楽しい田舎づくりを目指す
くまわりファーム 事務局長

おがた こういち
緒方 厚一さん



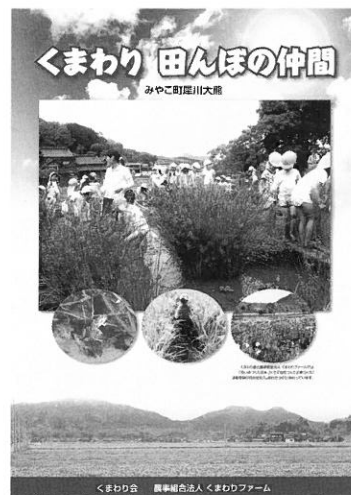
今川の支流喜多良川をさかのぼると、英彦山を背景にして基盤目状に整備されたのどかな園地帯が開けます。この中山間地の大熊で、緒方厚一さんが中心になり「大熊営農組合」を立ち上げたのは平成7年でした。例外なく高齢化や過疎化が進みつつある大熊で、圃場整備が行われ農地が改良されたのを契機に、農業を見直す機運が高まってきたそうです。農家の家長を譲り受けた大勢の仲間の支援があり、京築広域圏消防署に勤務の傍ら事務局を引き受けました。そして、大熊の豊かな自然を生かし、楽しんで農業ができる田舎にしようと組合を発足させ、減農薬栽培や農機の共同利用に取り組みました。

平成17年には、福岡県の「県民と育む農の恵みモデル事業」に応募。生き物調査やビオトープの整備を行い、水辺の生き物

との共生によって上質の米を生産し、ブランド米として販路を広げていくことを計画しています。

また、平成19年には会社組織の「くまわりファーム」に移行して、兼業農家の若者も働けるシステムを取り入れ、組合員25人、30haの圃場委託を受けるまでに拡大しています。「くまわり」とは、大熊が太陽のように輝けば、まわりの人たちがひまわりのようにこちらを向いてくれる、という願いを込めて名付けたそうです。まとめ役の緒方厚一さんは「組合に入って良かったと思ってくれないと失敗になる。米作りや村の組織作りも大事だが、先祖から受け継いだ田んぼの景観を田舎の風景として守り、ここに住んでみたいと思ってもらうことに意義がある」と熱い思いを語りました。

レポーター/ヒサノスケ



くまわり会 農事組合法人 くまわりファーム

知ってる?京築

「京築神楽の楽しみ方、教えます」



実りの秋、どこからともなく鳴り響く太鼓や笛、鉦のお囃子の音。各地の神社では、豊かな自然の恵みと五穀豊穡に感謝を捧げ、「神楽」が奉納される季節です。京築地域は、今もなお30を超える神楽団体が活動している「神楽の里」。悠久の時を越えて大切に守り継がれた伝統の舞には、自然と共に暮らしてきた京築の人々の祈りが込められています。演目や舞の意味を知ると、京築神楽の根底に流れるエコロジー精神も見えてきます。この秋、本紙を片手に、京築の神楽を訪ねる旅に出かけてみませんか?

レポーター/satomya



“京築神楽定期公演”に紙芝居もやってみよう

狐仙(御先)神楽

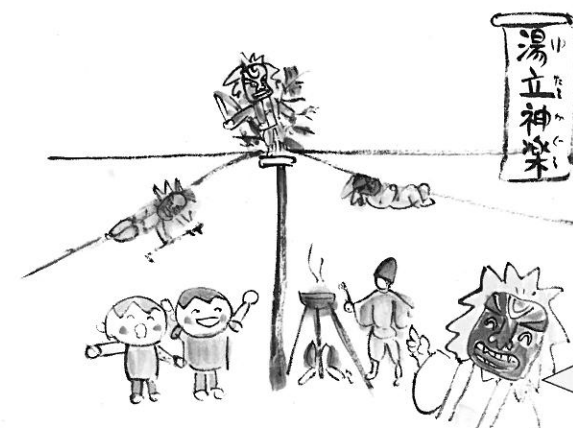
京築地域の神楽を代表する演目の一つで、古事記や日本書紀の天孫降臨の場面をあらわしています。天津神のニギハヤヒの従者のアメノウズメノミコトと国津神であるサルタヒコノカミが会おう場面を神楽としたものと伝えられます。始めは戦いますが、やがてサルタヒコノカミが天孫の道案内であることが分り肩を組んでまわります。これは、陰陽の交わりをあらわし、五穀豊穡・天下泰平・無病息災・子孫繁栄を祈る目的で舞う神楽です。



鬼にさらわれると
いふことがあるよ!

湯立神楽

修験道の影響が強い神楽。湯釜で湯を沸かしながら演じられ、クライマックスでは高さ10mにも及ぶ斎鉢(湯鉢)に狐仙(御先)鬼が登り、先端に下げられた大幡を切り落とします。燃え盛る炎と闇に浮かぶ斎鉢(湯鉢)が印象的で、最後は火渡りで火を鎮めます。2時間に及ぶ演目です。



アクロバティックな
動きに注目!

大蛇退治

出雲神話の代表的な演目の一つです。高天原を追われたスサノオノミコトが出雲の斐川にさしかかると、老夫婦が嘆き悲しんでいます。理由を聞くと、夫婦には8人の娘がいましたが、7人を大蛇に奪われ、とうとう最後に残ったクシナダヒメまで奪われるとのこと。それを聞いたスサノオノミコトは、老夫婦に酒を用意させ、これを大蛇が飲んで酔ったところを激闘の末に退治し、クシナダヒメを救いました。



ワラで編んだ
大蛇もあるよ!

岩戸開き

日本神話の「天の岩戸開き」に基づく神楽。アマテラスオオミカミが弟のスサノオノミコトの悪行を嘆いて天岩戸にお隠れになると、太陽神を失った高天原は闇に包まれてしまいます。途方に暮れた八百万の神は天安原に集まり、岩屋戸から誘い出そうと知恵を出し合い様々な試みを行います。アメノウズメノミコトの妖艶な舞に気をひかれ、わずかに岩戸が開いた時、タジカラオノミコトが一気に岩戸を開け、高天原に再び光が戻ります。



岩戸が開いたら
拍手をうとう!

※京築各地の神楽の最新情報はホームページ「京築まるごとナビ」でCHECK!

応援団イチオシのおすすめイベントをご紹介します。

けいちく秋みつけ



2014年・秋

苅田町



四季の音楽会実行委員会事務局(苅田町生涯学習課内) TEL.093-434-2044

等覚寺森のコンサート

■日程:10月25日(土)
■時間:12:00 開場 13:30 開演
■場所:苅田町等覚寺白山多賀神社
■料金:1,000円(手打ちそば代含む)事前申込
山伏修験の地、等覚寺にて篠笛と木笛(コカリナ)のコンサートを行います。
当日は、等覚寺特産の手打ちそばを味わい、自然の中での美しい演奏をお楽しみ下さい。

四季の音楽会実行委員会事務局(苅田町生涯学習課内) TEL.093-434-2044

みやこ町



第9回 愛郷音楽祭

■日程:12月21日(日)
■時間:13:30~16:40(予定)
■場所:サン・グレートみやこ
(みやこ町役場本庁横)
町内の中・高校吹奏楽部、地元の合唱団のほか、東京藝大OBを迎えての演奏会。今回はみやこ町も舞台となったNHK大河ドラマ「軍師官兵衛」にちなんだオペラを行います。

みやこ町産業課観光係 TEL.0930-32-2512

豊前市



第24回豊前市カラス天狗祭り

■日程:10月26日(日)
■時間:10:00~20:00
■場所:フレスポくぼてんタウン
豊前市の特産品やB級グルメが楽しめます。会場内ではステージイベントやフットサル大会、ミニSLの運行やふわふわ特大すべり台を設けるほか、豊前天狗太鼓による演奏、夜には大抽選会もあります。

豊前市まちづくり課観光係 TEL.0979-82-1111

吉富町



春日神社秋祭りの神楽舞

■日程:10月18日(土)
■時間:13:30~23:00
■場所:春日神社(今吉地区)
吉富町では10月の週末にどこかの神社で収穫を祝う秋祭りが行われます。(京築まるごとナビの神楽奉納カレンダーに掲載)今吉地区の春日神社の秋祭りは吉富神楽による神楽舞が楽しめます。

吉富町企画財政課 TEL.0979-24-4071

行橋市



第44回行橋市民文化祭

■日程:10月11日(土)~11月3日(月・祝)
■場所:コスモイト行橋、行橋中央公民館、行橋市民会館
■行事:催しの部(3)、ステージの部(10)、展示の部(10)
※「神楽」10月11日(土) 13:00~17:00
コスモイト行橋 文化ホール
市内4つの神楽が舞われ、前半に子ども神楽もありです。
特集の「神楽」を実現できるチャンスです。

行橋市文化協会 TEL.0930-25-1111 内線1168

築上町



築上町もみじウォーキング大会&もみじ祭り

■日程:11月8日(土)
■コース:4キロ、9キロ、18キロの3つ
■参加料:当日支払
大人……1,500円(買物券1,000円 保険料含む)
小中学生……500円(買物券500円 保険料含む)
■メチ:10月24日(金)必着 ※参加申込書により、FAX、郵送、持参等により申込み下さい。
山里の秋を体感しながら自然を満喫できます。ゴール 牧の原キャンプ場広場で芸能上演や特産品販売があります。

築上町 築城支所 商工課商工観光係 TEL.0930-52-0001 FAX.0930-52-0023

上毛町



上毛祭

■日程:10月12日(日)
■場所:大ノ瀬官衙遺跡
(道の駅しんよしとみ横)
■時間:9:00~19:00
150万本のコスモス畑に囲まれた大ノ瀬官衙遺跡で、京築子ども神楽フェスティバルや奉納台車レースが開催されます。ふるさとグルメ展も開催され地元の美味も堪能できます。

上毛町企画情報課 TEL.0979-72-3111

京築神楽情報



京築 神楽と食の祭典2014

■日程:12月7日(日)
■時間:10:00~16:00
■場所:行橋市民会館
■内容:①京築地域7団体による公演
②京築の農林水産物や加工品、ご当地料理の販売
豊かな自然が育んだ農林水産物と食、そして自然の恵みに感謝の祈りを捧げる京築7市町の神楽が大集合します!

京築連帯アムニティ都市圏推進会議事務局 TEL.092-643-3178